衛生管理に高い効果を発揮し
安心で安全な清潔空間を維持します。

(注)**SterilizAir**(ステライザ)の製品はいかなる病気も診断、治療、治癒するものではありません、またいかなる病変予防などに使用するものでもありません。

病院・医療施設
介護施設
老人ホーム

ホテル・旅館・
学校の寮

ビニールハウス栽培施設
切り花倉庫
養鶏場・養豚場
牛馬厩舎

スポーツジム
スポーツ施設
スパ・エステサロン
美容院

学校・保育園
幼稚園
子供用の施設

空港・空軍基地・海軍基地
国際線航空機(整備中機内除菌・除染)
沿岸警備隊艦船
海兵隊特殊戦部隊
など

食品工場・食品倉庫
食品運搬車両
レストラン・飲食施設
ショッピングモール

オフィス
ロビー
待合室

USJ-2型
350(W)×430(H)×150(D)mm
7.8Kg
有効面積100㎡

USJ-2M型(Hyper MEGA)
350(W)×430(H)×150(D)mm
7.9Kg
有効面積215㎡

■製品に対するお問い合わせ

株式会社ライブ

〒103-0014
東京都中央区日本橋蛎殻町１－１７－２
TEL 03-3833-4238
https://live445.com

備考

本カタログに記載された使用や内容は、今後予告なしに変更することがあります。 禁複製

世界最先端の次世代テクノロジーで空間を強力清浄化

ウイルス・細菌・カビ・有害粒子・悪臭を一掃

SterilizAir(ステライザ)は、「空間清浄化システム」装置です。

従来のパラダイムを変換させると言われる革新的な技術で、微量の空気を電気だけでユニークなスペクトルのROS(気相活性酸素種(100%オーガニック)混合イオンに変換し、強力な酸化作用により施設内に浮遊及び付着したウイルス・細菌などを素早く不活性化し継続的に除菌・除去します。
ROSは最終的に水と酸素に再分解されますので環境に優しく無害で安全です。

24時間365日、人が居る環境で使える!

製品の特徴 Features

高い効果を発揮し技術性、即効性、持続性、安全性、作業性(簡便性)、経済性において優る装置です。

清浄化のメカニズム

1.OHラジカルマルチガス・プラズマによる促進酸化方式
2.超音波によるキャビテーション及びスパッタリング効果
3.UV-C光触媒方式
以上の併合システムを搭載

処理方法の比較

●優れている/効果的　●基準合格/やや有効　●劣っている/効果なし

項目＼方法	清掃手作業	フィルタ	ミスト霧状	UV-Cマイクロ波	UV-Cフィルタ	STERILAIZA
空気の清浄化能力	●	●	●	●	●	●
付着表面の清浄化	●	●	●	●	●	●
空間の処理面積	●	●	●	●	●	●
連続処理	●	●	●	●	●	●
設備費用	●	●	●	●	●	●
運用費用/メンテ含	●	●	●	●	●	●

効果

・施設内の空間や表層付着の高い除菌・除染効果に加え高い脱臭・消臭効果を維持します。
・HAI病原体菌などの空気感染・接触感染・再感染・再増殖などのリスク軽減ができます。
・超音波の副次効果として、ハエ、カ、ダニを寄せ付けません。
・生鮮食品・果物・野菜などの劣化・腐敗を進めるエチレンガスなどの発生を抑制しフードロスを減少させます。
・24時間365日継続した衛生管理が可能となります。

安全性

・化学物質・薬品などを一切使用しないので毒性の二次生成物が無く安全・安心です。
・生物有機分子を水と酸素に分解し人体に無害・無毒で、環境にも優しいです。
・塩素などの化学物と違い電子機器・金属製器具等の損耗・腐食なども起こしません。

運用経費の軽減

・施設内の衛生管理に関わる費用と人的負担を大幅に軽減できます。
・低消費電力で運用コストを最小限に抑制します。
・操作が簡単で適用面積、使途範囲が広いです。

安全性と信頼性 Safety and Reliability

細菌不活性化試験

被 検 体 名：**SterilizAir**（ステライザ：空間除菌システム）
試 験 場 所：中央分析センター
試験使用機材：放散試験チャンバー（内容積3.1 ㎥）、普通寒天培地、恒温槽、オゾン濃度測定用検知管
腐食試験用金属（アルミニウム・リン青銅・銅・鉄・ステンレス・真鍮）
試 験 菌 株：大腸菌（E-Coli）、ブドウ球菌（ブ菌）、サルモネラ ティフィムリウム（S.T）
サルモネラ エンテリティディス（S.E）

試験内容

1．除菌効果試験

滅菌処理した放散試験チャンバー（試験用閉鎖型個室）内の角に披検機器を設置し、対角上テーブルの上に4 種の菌（大腸菌・ブドウ球菌、サルモネラ菌2 種）を塗抹した寒天培地を各3 枚（6 時間・12 時間・24 時間用）、計12 枚を設置し、ステライザ運転後6 時間、12 時間、24 時間毎に取り出し、恒温槽にて24 時間培養後、発育集落数をカウントする。

2．安全性試験

除菌効果試験チャンバー内のオゾン濃度を測定。除菌効果試験チャンバー内にて、各腐食試験用金属を向って中央より右半面をテープにて保護をし、24 時間運転後取り出し、テープを剥がし、左右の比較による試験をする。

除菌試験結果表

供試細菌時間毎測定数（control）

供試細菌	時間	試験系	原	10	10^2	10^3
Escherichia coli	6h	control	∞	157	9	0
	12h	control	∞	239	15	6
	24h	control	∞	138	23	0
ブドウ球菌	6h	control	∞	246	26	2
	12h	control	∞	293	29	1
	24h	control	∞	300	39	4
Salmonella Typhimurium	6h	control	∞	236	49	2
	12h	control	∞	201	28	9
	24h	control	∞	204	32	2
Salmonella Enteritidis	6h	control	∞	∞	150	49
	12h	control	∞	∞	430	49
	24h	control	∞	∞	500	50

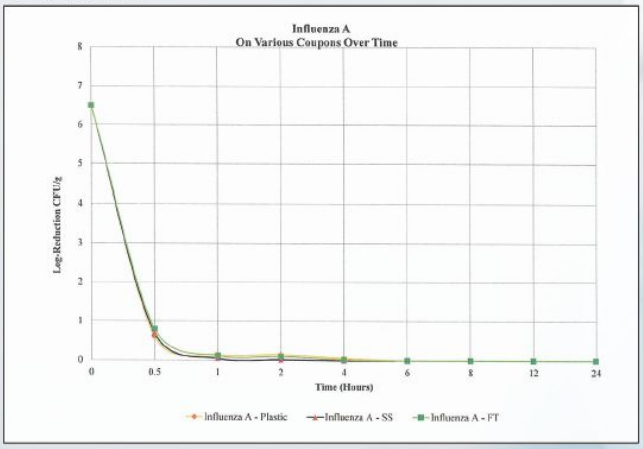
STERILIZA稼働時細菌時間毎測定数

供試細菌	時間	試験系	原	10	10^2	10^3
Escherichia coli	6h	test	131	2	0	0
	12h	test	21	0	0	0
	24h	test	5	0	0	0
ブドウ球菌	6h	test	1	0	0	0
	12h	test	1	0	0	0
	24h	test	0	0	0	0
Salmonella Typhimurium	6h	test	62	3	0	0
	12h	test	35	0	0	0
	24h	test	6	1	0	0
Salmonella Enteritidis	6h	test	300	46	3	1
	12h	control	284	8	4	0
	24h	control	276	46	6	0

STERILIZA稼働時細菌減少率

供試細菌	時間（h）	減少率（%）
Escherichia coli	6h	98.11%
	12h	99.48%
	24h	99.88%
ブドウ球菌	6h	99.95%
	12h	99.95%
	24h	100.00%
Salmonella Typhimurium	6h	99.77%
	12h	99.83%
	24h	99.96%
Salmonella Enteritidis	6h	99.62%
	12h	99.82%
	24h	99.63%

インフルエンザA型



考察

試験菌株を用いて試験内容における条件下での除菌効果試験で、稼働6時間で約99%の効果が認められた。（除菌試験結果参照）
金属腐食試験においても、若干の変色はあるが腐食は確認できなかった。除菌効果としては高い性能である事が解った。

※「コロナウイルス、インフルエンザなどへの効果があることは実証されています。」